

研究課題：尿蛋白消失後、慢性腎臓病へ移行した紫斑病性腎炎の危険因子に関する検討

1. 研究の目的

尿蛋白消失後、慢性腎臓病へ移行する紫斑病性腎炎の危険因子を明らかにすること。

2. 研究の方法

2003年2月1日～2014年7月31日に、当科で腎生検にて紫斑病性腎炎と診断され、尿蛋白が消失した患者様を対象とします。最終観察時（観察期間5年以上）に慢性腎臓病移行、高血圧、蛋白尿残存（尿蛋白/Cr \geq 0.2）のいずれかを認めた予後不良群と認めなかった予後良好群の2群に分けて、腎生検時の患者背景、腎組織像、治療内容、治療経過などについて、診療録より後方視的に比較検討します。

3. 研究期間

倫理委員会で承認後～2020年5月31日

4. 研究に用いる資料・情報の種類

診療録などすでに収集済みの資料

5. 外部への資料・情報の提供、研究成果の公表

本研究の内容に関しては後に学会または誌上で発表し、公表します。

6. 研究組織

埼玉県立小児医療センター 腎臓科 科長兼副部長 藤永 周一郎

7. お問い合わせ先・研究への参加を希望しない場合の連絡先

研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、資料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、2020年5月31日まで下記の連絡先へお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

埼玉県立小児医療センター
医事担当（代表 048-601-2200）